

日々の祈り

2020年4月13日(月)～18日(土)

宮崎中部教会



<はじめに>

新型コロナウイルスの感染予防のために、四月も聖書研究祈禱会はお休みとなりました。それぞれ対策をしっかりしつつ、再開できる時のために備えましょう。また、変わらずに日々の御言葉と祈りの時を大切にしましょう。

<使い方>

毎日の御言葉を、可能であれば声に出して、二回以上読んでみましょう。御言葉をじっくりと味わい、聖霊に導かれるままに、祈りの時をもちましょう。

<今週の祈りの課題>

- ・復活のイエスさまの恵みを覚えて日々を過ごせるように。
- ・礼拝に集うことが出来ない兄弟姉妹に、主の平安と導きがあるように。
- ・生活に不自由を覚えたり、困難や不安を感じている人々のために。

13日(月)

ローマの信徒への手紙 6 章

わたしたちは、キリストと共に死んだのなら、キリストと共に生きることにもなると信じます。

私の罪のために十字架で死なれたイエスさまと結ばれたなら、私たちはもう罪に対して死んでいます。そしてキリストの中に生きる者とされたのですから、もう罪の中に生きることはありません。私たちは自分の罪の悲惨な現実を見つめて、諦めたり悲嘆したりするのではなく、キリストの中でこの救いの真実に生かされていることを見つめ、それにふさわしく生きることを祈り求めたいのです。

14日(火)

ヨハネによる福音書 20 章 27 節

それから、トマスに言われた。「あなたの指をここに当てて、わたしの手を見なさい。また、あなたの手を伸ばし、わたしのわき腹に入れなさい。信じない者ではなく、信じる者になりなさい。」

疑い深いトマス。トマスは他の弟子たちが復活のイエスさまとお会いした時に一人だけ不在でした。彼は、イエスさまの釘の跡や脇腹の傷をこの目で見て、触れなければ決して信じない、と言いました。イエスさまは、そんなトマスのところに来て下さり、語りかけ、あなたのその指で傷に触れて良いと、あなたのその目でよく見なさいと、仰って下さいます。イエスさまは私たちの疑い深い心をよくご存じです。そして、そのことを諦めず、見捨てず、信じる事が出来るように導いて下さいます。この世の不安や疑いの中にあっても、「信じない者ではなく、信じる者になりなさい」との声が響きます。

15 日(水)

ヨハネによる福音書 15 章 5 節

わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である。人がわたしにつながっており、わたしもその人につながっていれば、その人は豊かに実を結ぶ。わたしを離れては、あなたがたは何もできないからである。

イエスさまという木に繋がる枝である私たちには、たくさんのお栄養が流れ込みます。そして、豊かな実を結びます。でも、幹から離れた枝は、水分も栄養も得られなくなり、枯れてしまうのです。イエスさまは言われます。「わたしにつながっていないさい。わたしもあなたがたにつながっている。」(15:4) 私たちの努力によって、ぶらさがって、手を離さないようにして繋がっていることは困難です。でも、イエスさまが繋がっていて下さるから、私たちは繋がっていられるのです。私たちは、この方なしには何もできないのです。

16 日(木)

申命記 33 章 12 節

主に愛される者はその傍らに安んじて住み／終日、神に身を寄せて／その御守りのもとに住まう。

安んじて住む場所がないような今の時代です。どこにも恐れや、不安や、疑いが満ちています。当たり前と思っていた安定も、安心も、失われることがあります。地上には絶対に安らかな住まい、というところはありません。しかし主の傍らは、私たちがまことに安んじることのできる住み処です。私たちは終日、神のもとに身を寄せることが出来、御守りのもとに住まうことが出来るのです。

17 日(金)

詩編 96 編 11~13

天よ、喜び祝え、地よ、喜び躍れ
海とそこに満ちるものよ、とどろけ
野とそこにあるすべてのものよ、喜び勇め
森の木々よ、共に喜び歌え
主を迎えて。主は来られる、地を裁くために来られる。
主は世界を正しく裁き
真実をもって諸国の民を裁かれる。

主を迎えましょう。地を、諸国の民を、真実をもって裁く方が来られました。この方は、罪人を赦すために十字架に架かり、復活された方です。天と地とすべてのものが、喜び祝い、喜び踊り、とどろき、喜び勇み、喜び歌って迎えるべき方。私たちはどのようにこの方をお迎え出来るでしょうか。

18 日(土)

ルカによる福音書 8 章 3 節

ヘロデの家令クザの妻ヨハナ、それにスサンナ、そのほか多くの婦人たちも一緒であった。彼女たちは、自分の持ち物を出し合って、一行に奉仕していた。

イエスさまと十二弟子たちの福音伝道の旅に同行して、自分の持ち物を出し合い、奉仕していた女性たちがいました。イエスさまの御言葉を聞き、癒され、慰められ、生かされ、そして従って来た者たちです。御言葉を聞き、従い、行なうこと。信仰者のまことに生き生きとした喜びの生活です。